

2014 年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」

3 年次調査の概要

- 調査対象者 学部 2012 年度生全員。
- 調査方法 2014 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。
- 回収状況 有効回収数は 3541 票であり、在籍者数に対する回収率は 59.3%であった。

学部別回収状況（3 年次調査）

	在籍者数	回収数	回収率
神学部	59	40	67.8%
文学部	727	383	52.7%
社会学部	419	311	74.2%
法学部	859	459	53.4%
経済学部	914	526	57.5%
商学部	819	564	68.9%
政策学部	395	196	49.6%
文化情報学部	319	214	67.1%
理工学部	716	389	54.3%
生命医科学部	271	162	59.8%
スポーツ健康科学部	155	96	61.9%
心理学部	169	114	67.5%
グローバル・コミュニケーション学部	154	86	55.8%
所属不明	—	1	—
合計	5976	3541	59.3%

Q6. あなたは、どの入試を受けて本学に入りましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 4. AO入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年
次編入学試験 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

Q7. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、在籍している学部(学科) 2. 本学の他学部(他学科) 3. 私立他大学 4. 国公立大学
5. 短期大学 6. 専門学校 7. その他(具体的に)

Q8. 入学前の状況として、最もあてはまる番号に○をつけてください。

1. 国内の高校に在学 2. 浪人していた(予備校に在学も含む) 3. 国内の他大学・短大に在学
4. 国内の専門学校に在学 5. 会社で働いていた 6. 海外留学していた 7. その他()

Q9. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	いえな い	どちらとも	やや不満	不満	(履修・利用し ていない) わからない
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9	
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9	
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9	
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9	
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9	
6) ラーニング・commonsの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
7) 各学部が設置している学習スペースの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
8) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9	
9) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9	
10) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、 司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9	

Q10. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司
書教諭) |
| 2. 先端領域科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 複合領域科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習
方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

Q11. あなたは次のような力が、今までの学生生活を経験されて、どの程度身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	身につかなかった	あまり身につかなかった	やや身についた	身についた
1) 一般的な教養	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4
12) 英語の能力	1	2	3	4
13) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4
14) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4
15) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4
16) チームワーク	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4
20) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4
21) 批判的に考える力	1	2	3	4
22) 効果的に学習する技能	1	2	3	4
23) 自ら考え行動する力	1	2	3	4
24) キリスト教精神	1	2	3	4
25) 日本文化に関する知識	1	2	3	4
26) コミュニケーション能力	1	2	3	4

Q12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

Q13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

Q14. あなたは、大学入学後に次のような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

Q15. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 協調性を持つこと	1	2	3	4
9) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
10) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
11) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
12) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
13) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

Q16. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	そう思う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

Q17. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4

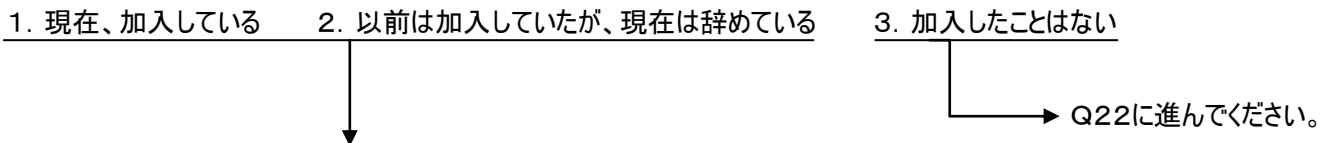
Q18. あなたは、**今学期(秋学期)**、授業を何科目(コマ)登録しましたか。また、登録した授業のうち、7割(11回)以上出席した授業は何科目(コマ)ありましたか。休学等の理由で授業の登録を行わなかった場合は0(ゼロ)と記入してください。(注意:単位数ではありません)

1) 登録した授業		科目(コマ)
2) 7割(11回)以上出席した授業		科目(コマ)

Q19. あなたは授業期間中、**通常 1 週間に**約何時間、次の活動を行いましたか。まったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

1) 授業中以外の学習(授業の予習・復習、課題作成、 実験、リハーサル等)		時間 くらい
2) 仕事またはアルバイト		時間 くらい
3) クラブ・サークル活動		時間 くらい
4) 授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を 除く)		時間 くらい

Q20. あなたは現在、クラブ・サークル等の団体に加入していますか。あてはまる番号に○をつけてください。



Q21. あなたが加入している(していた)団体は次のどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
* 複数の団体に加入している(していた)場合は、もっとも熱心に取り組んでいる(いた)団体についてお答えください。
* 「公認団体以外の学内団体」には、学生支援センター登録団体を含みます。

1	2	3	4	5
公認団体 体育会	公認団体 スポーツブロック	公認団体 文化系	公認団体以外 の学内団体	その他 (具体的に)

Q22. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえば 満足している	どちらともいえない	どちらかといえば 不満である	不満である

Q23. あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5
非常に 愛着がある	かなり 愛着がある	ある程度 愛着がある	あまり 愛着がない	まったく 愛着がない

Q24. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り	た ま に し た	し た 日 常 的 に
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) ラーニング・コモンズを利用する	1	2	3	4	
3) 各学部が設置している学習スペースを利用する	1	2	3	4	
4) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
5) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
6) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
7) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
8) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
9) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
10) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
11) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	
12) 部活・サークル活動に参加する	1	2	3	4	
13) アルバイトをする	1	2	3	4	
14) 語学に関する勉強をする	1	2	3	4	
15) ゼミや卒業論文、卒業研究に取り組む	1	2	3	4	
16) 公務員・教員採用試験の勉強をする	1	2	3	4	
17) 資格試験の勉強をする	1	2	3	4	
18) キャリアセンターを利用する	1	2	3	4	

Q25. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する | 5. 他大学に(編)入学する | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない | 8. その他(具体的に |) |

Q26. あなたが働くこと(希望進路)について真剣に考え始めたのはいつごろですか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------|
| 1. 大学入学前 | 2. 大学1年生のとき | 3. 大学2年生のとき |
| 4. 大学3年生の4月から9月 | 5. 大学3年生の10月から3月 | 6. まだ考えていない |

あなたの学籍番号（学生 I D）を教えてください。

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

学習支援・教育開発センターでは、みなさんが 3 年次を終えられる時点で同様の調査を実施し、1 年次の時に感じられたことが、どのように変化したかを探ることを計画しています。今回の回答と 3 年次終了時点での回答を照合させることで、1 年次と 3 年次の変化を捉え、今後の教育改善の取り組みに役立てていきたいと考えております。このような目的のため、学生 ID の記入を**任意**でお願いしています。もちろん、この調査は回答者個人を特定して分析するものではなく、学生全体としての傾向を把握するためのものですが、学生 ID を記入したくない方は空白にしておいてください。

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

--

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学学習支援・教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

授業に対する取り組み (Q12)

図1は、授業に対する取り組みを11項目の頻度を示している。8割を超える学生が「授業課題の提出」をおこなっている。「黒板に書かなかったことでもノートを取る」や「試験前に時間をかけて勉強する」ことも、多くの学生が実行している。ただし、「授業の予習や復習をする」「授業内容について教員に質問する」は、両項目とも40%程度にとどまる。学生に対して能動的な学びをどのように誘発するかが今後の課題となるだろう。

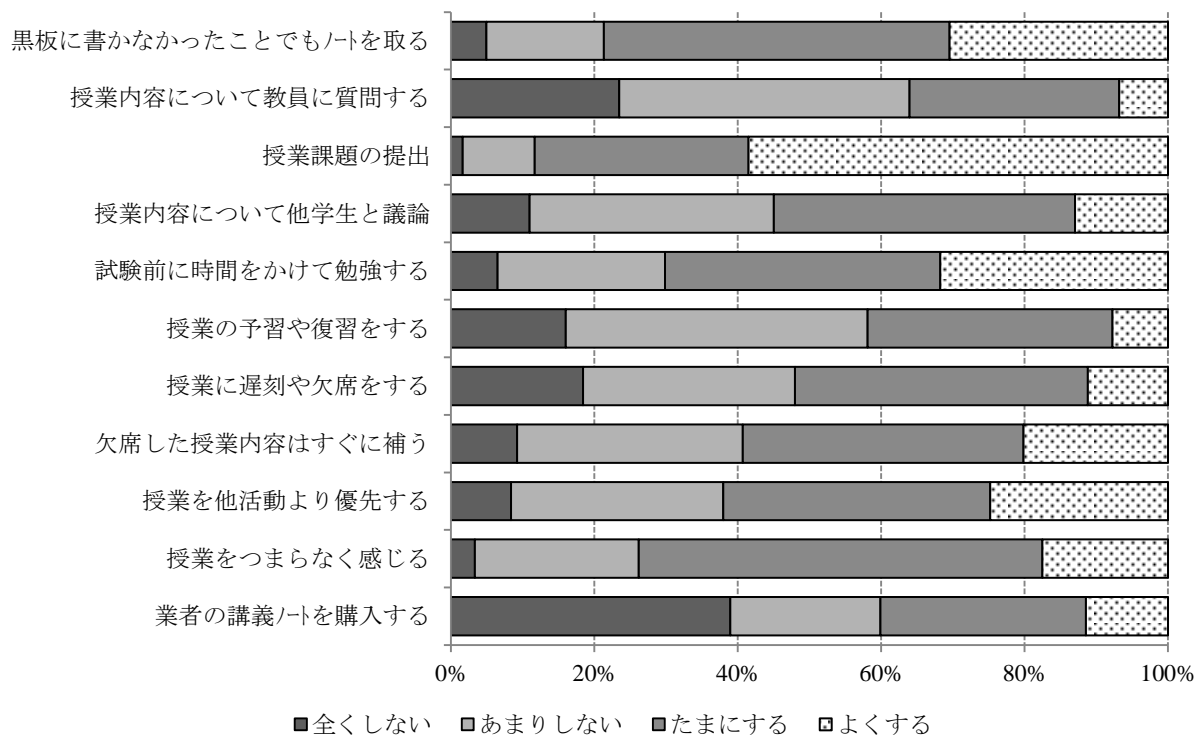


図1：授業に対する取り組み

授業の形態・方法（Q13）

図2は、3年間の大学生活を通して、学生がどのような形態・方法の授業を受講してきたのかを11項目で示している。多くの学生にとって、「出欠の確認」や「定期的な課題提出」は日常的な出来事となっている。しかし「フィールド・ワーク」、「体験学習」、「実習・実験」といった実践型の授業は、3年次終了段階でも、学生はあまり受講する機会がないようだ。

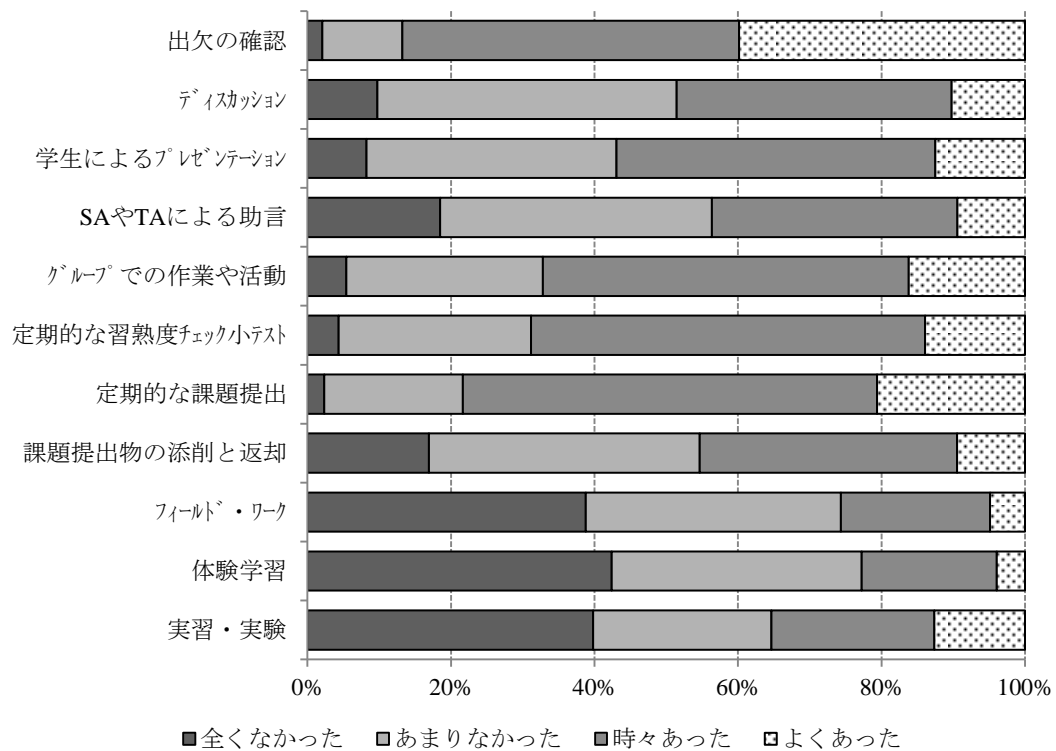


図2：授業の形態・方法

留学等の経験（Q14）

学生の留学経験を確認する。図3は大学入学後に行った留学等の経験について示している。3年次終了段階においても、全体として「語学研修プログラムへの参加」は10.3%、「正規交換留学生として留学」は4.6%、「私費留学生として留学」は6.7%となっている。

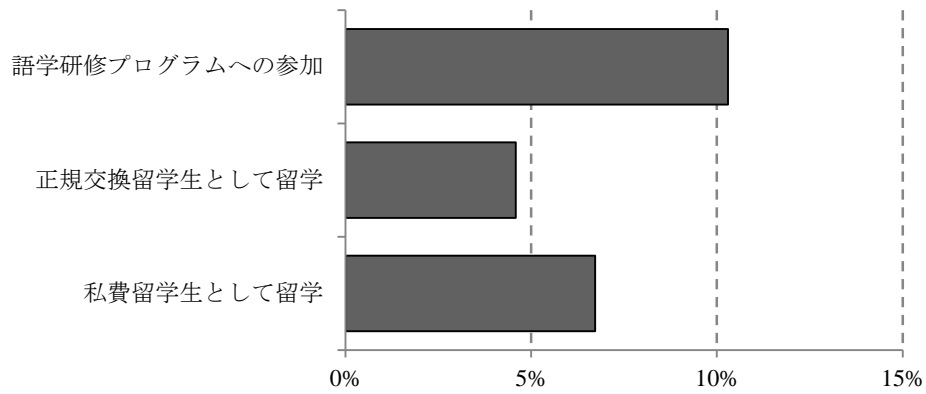


図3：留学等の経験

授業に対する評価（Q15）

図4は、授業内容がどの程度役立ったかを示している。「多様なものの見方にふれること」に対し、多くの学生は授業内容が役立ったと回答している。「探究心を持つこと」や「協調性を持つこと」「大学生としての自覚を持つこと」も、役立ったと評価する学生は多い。

一方、「愛校精神を持つこと」「リーダーシップを発揮すること」「国際的視野の獲得」に対する学生の評価は低い。いずれの項目も4割ほどの学生が役に立たなかったと回答している。

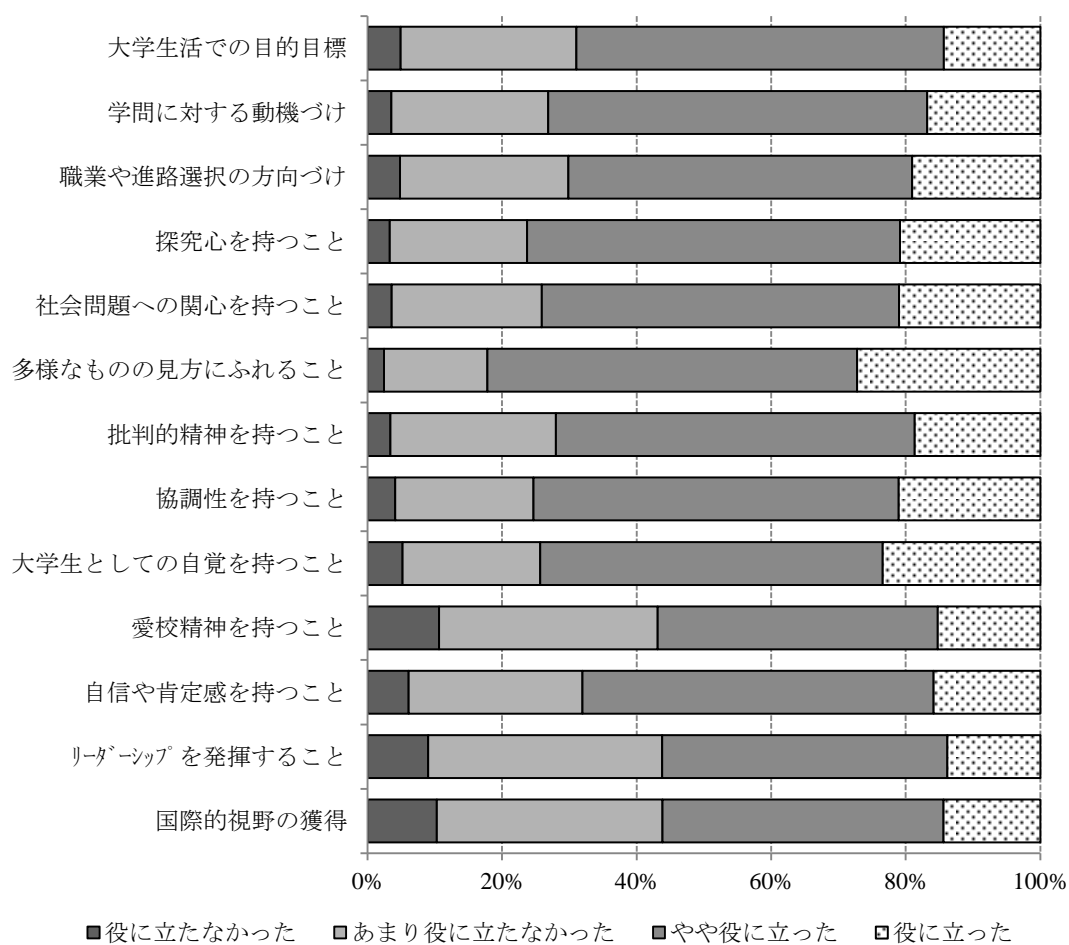


図4：授業に対する評価

大学教育の価値 (Q16)

図5は、学生が大学教育に対してどのような意識を持っているのかを示した。「大学で学ぶことは楽しい」「大学で学ぶこと自体に価値がある」「卒業すれば、よりよい条件の職業につける」に対し、80%近くの学生は肯定的に考えているようだ。ただし、大学で「何を学んだかは就職活動の結果に関係ない」と考える学生は51.7%となっている。

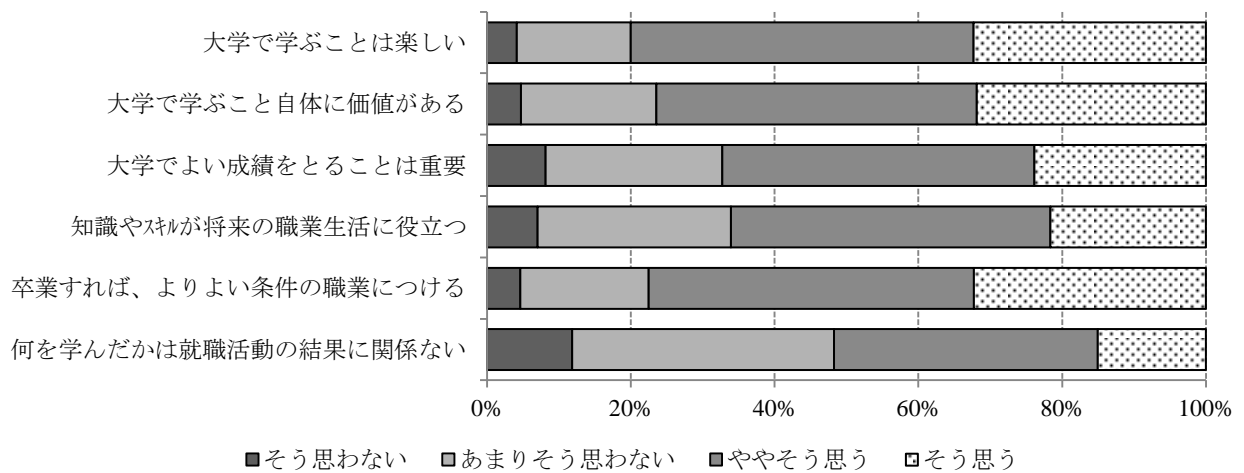


図5：大学教育の価値

大学への適応状況（Q17）

大学入学から3年が過ぎた学生の適応状況をみてみよう。図6は友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を示している。これによると、9割の学生は大学の内外で友人関係を形成していることがわかる。さらに、「大学の教員と交流がある」「大学の教員と交流がある」「大学の教員と交流がある」「大学の教員と交流がある」に対する肯定的な回答は1年次より多いようだ。

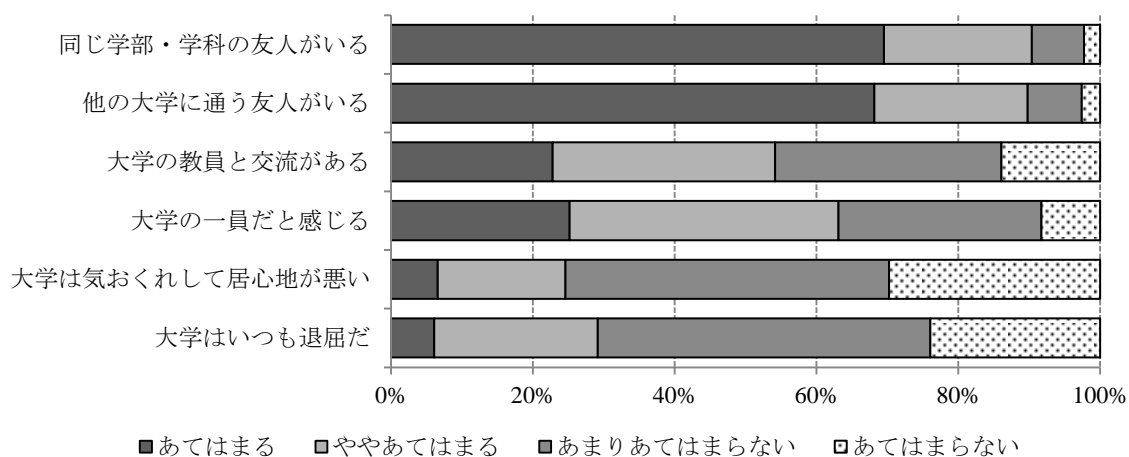


図6：大学への適応

生活時間【部活・サークル、アルバイト、授業外学習、読書】(Q19)

図7は、一週間あたりの「部活・サークル」「アルバイト」時間を示している。「部活・サークル」の活動時間は、「0時間」が39.0%と最も多く、平均は6.10時間であった。「アルバイト」でもっとも多いのは「6~10時間」(22.7%)であり、「16~20時間」(19.4%)が続く。平均は12.06時間であった。

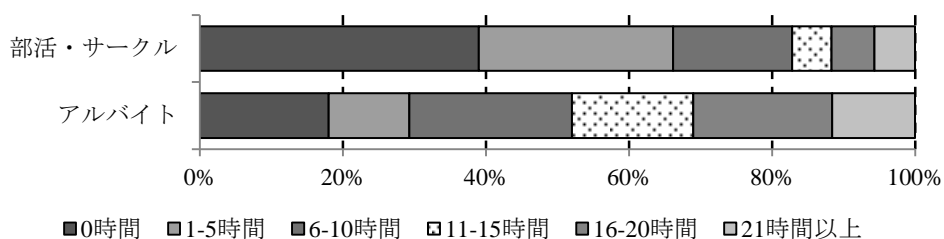


図7：一週間あたりの部活・サークル、アルバイト時間

図8は、一週間の「授業外学習」と「授業に関係ない読書」時間を示す。「授業外学習」でもっとも多い回答は「1~2時間」であり3割を大きく上回っている(36.4%)。なお、平均は4.41時間であった。「授業に関係ない読書」時間は、「1~2時間」との回答が1/4ほどを占め(26.1%)、平均は5.61時間であった。

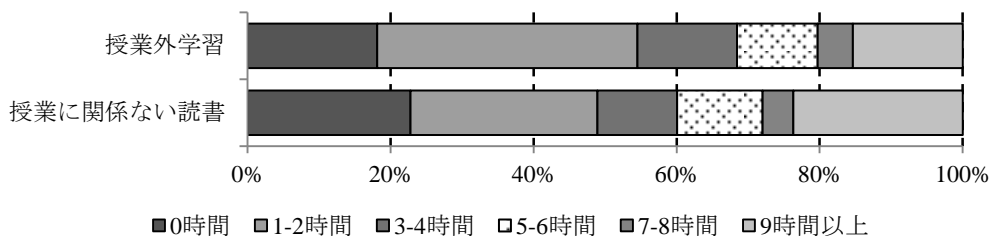


図8：一週間あたりの授業外学習、読書時間

部活・サークル活動（Q20・21）

図9は学生の部活・サークルへの加入状況を示す。3年次終了時ということもあり、全体として「現在、加入している」比率は1年次生に比べ、低い（54.2%）。

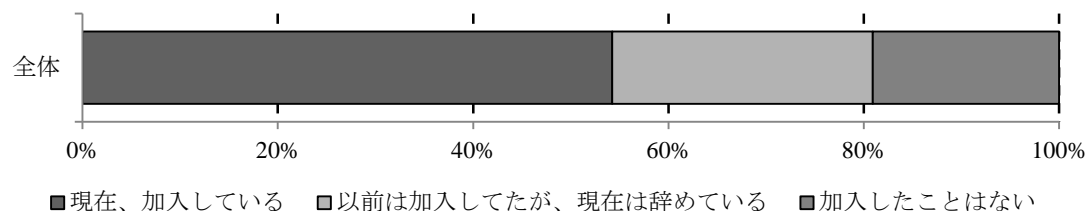


図9：部活・サークル等への加入状況

図10の学生の加入する部活・サークル団体の種別をみると、全体としてもっとも加入の多い種別は「公認団体：文化系」（38.7%）であった。

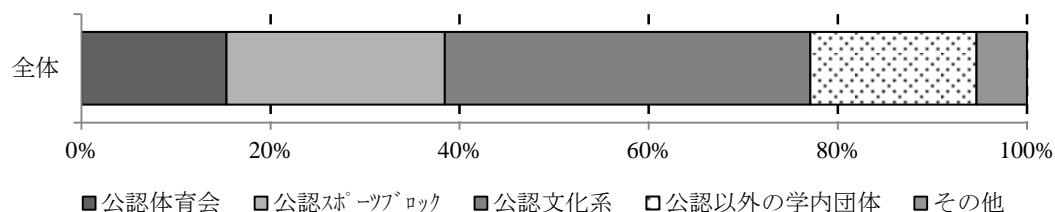


図10：加入団体の種別

満足度（Q22：大学教育全般の満足度、Q9：領域別満足度）

図 11 は、教育全般に対する満足度を集計したものである。「満足」「どちらかといえば満足」両者を合わせると、69.0%の学生が本学の教育に満足している。

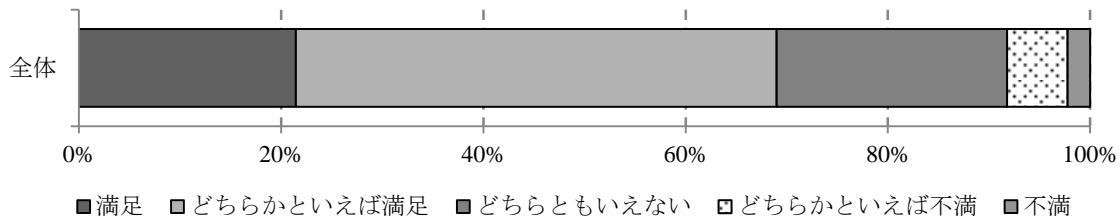


図 11：教育全般に対する満足度

図 12 は、大学の設備・授業科目に対する満足度を示す。「所属学部・学科の専門の授業」「教室の設備環境」「図書館の環境や設備」「ラーニング・コモンズの環境や設備」について、多くの学生が満足している。一方、「英語・外国語の授業」「全学共通教養教育科目の授業」「免許・資格課程科目の授業」に対する学生の満足度は相対的に低い。

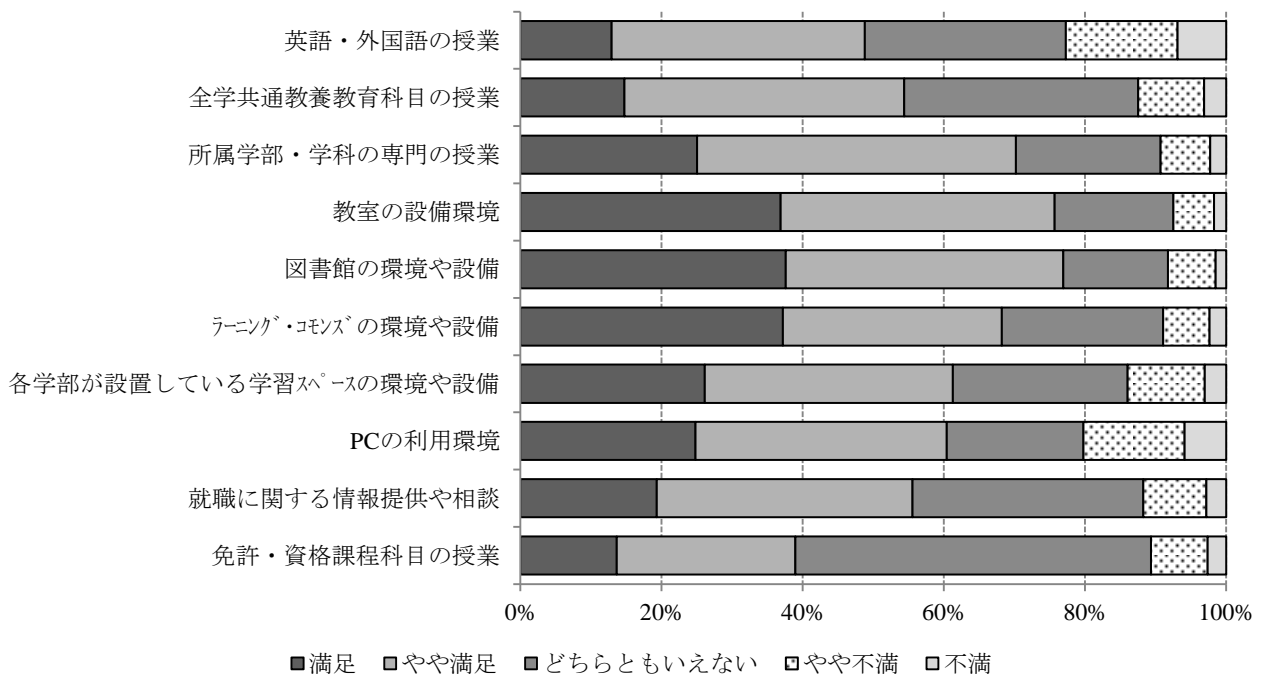


図 12：領域別満足度

大学に対する愛着（Q23）

学生が本学に対してどの程度の愛着をもっているのかを検討する。図13は「あなたは本学に対してどのくらい愛着がありますか」に対する回答をまとめたものである。全体として、半数ほどの学生が本学に対して愛着をもっている（「非常に愛着がある」と「かなり愛着がある」の合計＝40.9%）。一方、「あまり愛着がない」との回答は11.3%、「まったく愛着がない」との回答は3.3%であった。

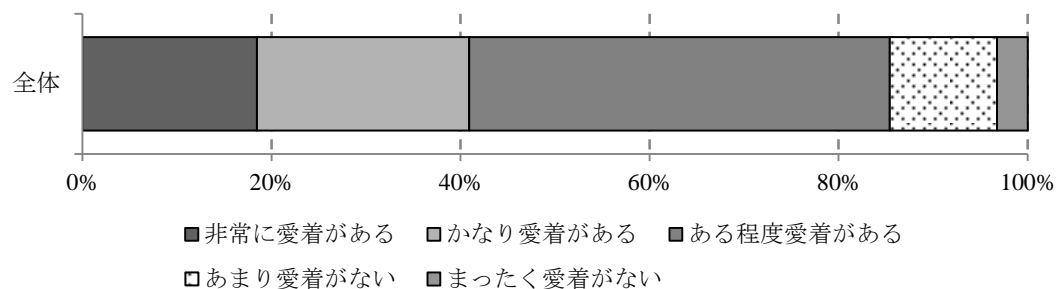


図13：大学に対する愛着

学習・生活習慣（Q24）

図 14 は入学から 3 年経過した学生の学習・生活習慣を示す。1 年次と比較してもわかるように、大幅な相違は確認されず、安定した学習・生活習慣を示しているといえる。

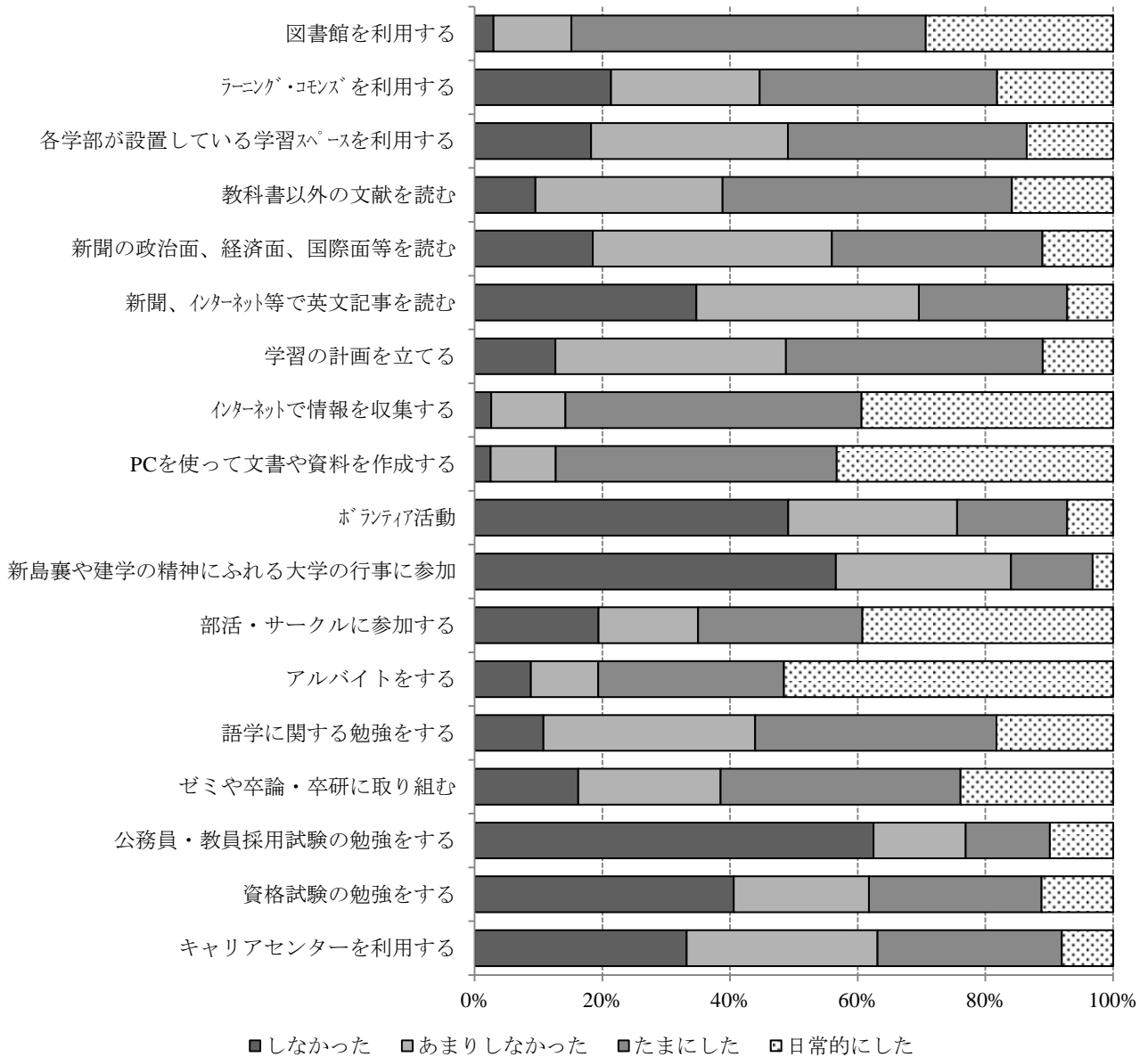


図 14：学習・生活習慣

希望する進路（Q25）と考え始めた時期（Q26）

3年生が卒業後の進路をどのように考えているのかを確認する。図15は、男女別に卒業後の進路希望を集計したものである。男性にくらべ、女性は高い割合で民間企業・自営業への就職を希望している（66.3%：76.1%）。その一方で、女性で大学院への進学を希望する学生の割合は6.9%であり、男性（13.4%）の1/2ほどにとどまっている。

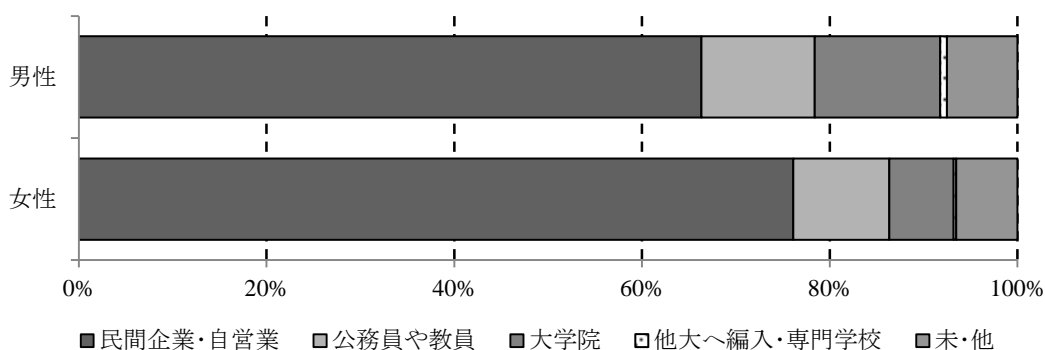


図15：卒業後の希望進路

図16は「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」時期を男女別に示したものである。ここからわかることは、男女ともに、半数を超える学生が3年生に入ってから「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」ということである。一方、「大学入学前」から希望進路について考えていた学生は男性で13.2%、女性で11.0%であり、男性の方がわずかながら女性にくらべて割合が多い。ただし、「未定」と回答した学生の割合は、男性にくらべ、女性の方で少ない（6.5%：3.4%）。

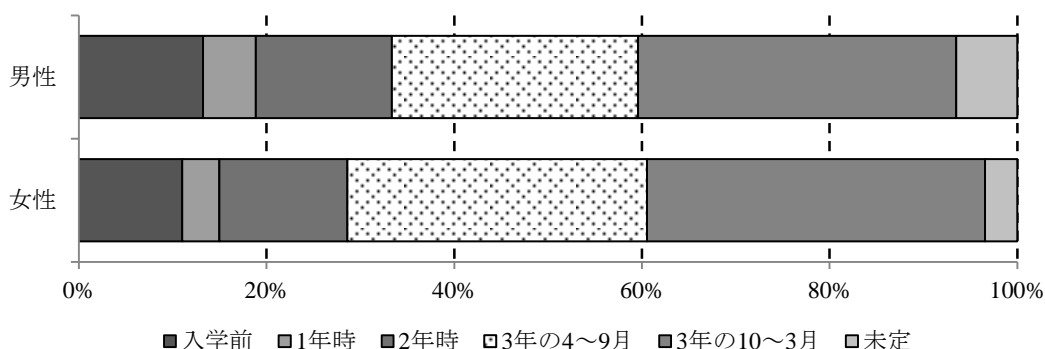


図16：希望進路を考え始めた時期